みやぎ MIYAGI 県老連だより

公益財団法人　宮城県老人クラブ連合会

通巻
104号
2017.1.17

〈左上〉第 45 回　全国老人クラブ大会・富山大会　〈右上〉第 37 回　宮城県老人クラブ大会・岩沼大会

〈右下〉宮城県老人クラブ連合会　女性リーダーセミナー
〈左下〉平成 28 年度　東北ブロック老人クラブリーダー研修会・秋田大会

【内容】

新年のあいさつ
平成28年度の行事予定・事業報告
新地域支援事業
会員1万人増強運動
熊本・岩手災害救援拠金

明けましておめでとうございます

公益財団法人　宮城県老人クラブ連合会
会長　武山　萬

新しい年を迎え、会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

旧年中は、宮城県老人クラブ連合会の事業運営を進める中で、各市町村老人クラブ連合会皆様には多大なるご指導、ご支援、ご協力をいただき、計画通り事業を進める事ができました。感謝と御礼を申し上げます。

東日本大震災から5年9ヶ月が過ぎ、被災地では故郷の復興活動に懸命の努力が続けられております。道は険しく、新年を仮設住宅で迎えられた多くの方々に今年こそ希望に満ちた最良の年になりますようご祈念いたします。

宮城県老人クラブ連合会は「健康・友愛・奉仕」の三大活動を基軸に、多彩な活動を通して明るい長寿社会づくりを展開してまいりました。

新しい年も「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、「新地域支援事業」や「会員一万人増強運動」を最重要課題として取り組んでまいります。少子高齢化社会が進む中、老人クラブは地域を基盤とする高齢者の組織であり、生きがいと健康づくりを進め、高齢者が住み慣れた地域で安心安全に暮らし続けるため、地域住民・団体による支え合い体制が必要であります。「友愛活動」「見守り活動」「サロン活動」「生活支援」等を行う役割を担っております。

介護保険制度の見直しによる「新地域支援事業」や「地域包括ケアシステム」への理解を深め、高齢者振り込め詐欺、おれおれ詐欺への対策、高齢者の交通事故防止等、課題は山積しております。行政や関係機関との連携を密にし、協同協力する事が益々重要になってまいります。

「会員増強運動」につきましては、始めてから三年になりますが、まだまだ増強には厳しい状況にあります。あと二年、平成三十年度まで、たゆまぬ努力が求められています。増強運動の方法の再検討の必要もあります。単位クラブの会長の成り手がいない、リーダー不足、女性部や若手リーダーの養成が最重要課題であります。市町村老連の皆さんが「仲間を増やす」「一人が一人を増やす」、一人でも多くの会員増強を年頭に当たりお願い申し上げます。県老連と市町村老連が共に連携し、これまで以上に会員増強運動に取り組んでまいりますので、ご協力ご支援よろしくお願いいたします。

宮城県老人クラブ連合会の事業運営に対しまして、宮城県並びに県・市町村社会福祉協議会はじめ関係機関皆様方には、多大なるご指導、ご支援、ご理解を頂戴し、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げますとともに新年度も、変わらぬご指導、ご支援宜しくお願いいたします。

新しい年が会員皆様の素晴らしい年になりますよう、益々のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成28年度の行事予定

1　県内の行事

①認知症サポーター養成講座

厚生労働省が平成15年から全国に展開している「認知症サポーター100万人キャラバン事業」の一環として、地域住民が認知症について学び、身近にいる認知症の人や家族の良き理解者となるサポーターを養成することを目的に開催しております。

【1月17日】色麻町老連
【1月24日】大郷町老連
【1月25日】大崎市松山地区
【1月31日】富谷市老連
【2月1日】多賀城市老連
【2月8日】大和町老連
【2月9日】南三陸町老連
【2月13日】本吉町老連
【2月15日】蔵王町老連
【2月16日】角田市老連
【2月17日】登米市迫地区
【2月20日】村田町老連
【2月21日】七ヶ浜町老連
【2月23日】石巻市河北支部
【2月24日】石巻市石巻支部

②女性リーダー活動

ふるさと宮城の「再生」から「発展」へつなげる年に

宮城県知事　村井　嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年の年頭に、私は「金」をその年の思いを込めた一字としましたが、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは宮城県ゆかりの選手が活躍されました。バドミントン女子ダブルスの高橋礼華さんと松友美佐紀さんが金メダルを、卓球の福原愛さんとウィルチェアー（車いす）ラグビーの庄子健さんが銅メダルを獲得され、私たち県民に勇気と感動を与えてくれました。また、石巻市立病院の再開や三陸縦貫自動車道の延伸など、震災からの復興が着実に進み、さらに、医学部の新設や仙台空港民営化など「創造的復興」に向けて種をまいてきた取組が次々と花開いた年でした。

一方、高齢者の見守りにも力を入れ，全国に先駆けて、県内全ての金融機関や農協等各団体と協定を結び、地域に溶け込んでいる事業者の見守り活動により、高齢者の方々の生活の安心を支えることができるネットワークの構築を進めてまいりました。

今年は、「宮城県震災復興計画」（平成23年10月策定）に定める「再生期」の最終年に当たります。昨年に引き続き、「迅速な震災復興」、「産業経済の安定的な成長」、「安心して暮らせる宮城」、「美しく安全な県土の形成」を政策推進の基本として、復旧・復興に向けた施策に最優先で取り組むとともに、人口減少対策や地域経済の活性化、地方創生と地方分権の取組も併せて推進し、平成30年からの「発展期」につなげてまいります。

また、「政宗が育んだ〝伊達〟な文化」が日本遺産に認定されましたが、伊達政宗生誕４５０周年を迎える様々な行事が開催されます。一方、介護の分野では、全国の介護や行政関係者、地域の方々などが集まり、介護現場を取り巻く環境や課題、介護保険制度の進むべき方向性について話し合う「第18回介護保険推進全国サミットinいわぬま」が10月に開催されます。

県は現在、高齢者の皆様が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるように、医療・介護等の生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムを推進しており、老人クラブ会員の皆様が取り組まれている地域の支え合い活動は、地域包括ケアシステムを推進する上で、極めて重要な活動であります。

高齢化率世界一となった日本において、私は、元気な高齢者が様々な分野で活躍していくことこそが重要であると考えており、会員の皆様にはそのお手本となって、元気高齢者に満ちた宮城を創っていただきたいと思います。また、その姿が震災支援に応える「宮城モデル」にもつながるものと考えています。

復旧・復興への道のりはまだ続きますが、ふるさと宮城の再生と発展のため、会員の皆様と共に進んでまいりたいと考えておりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

【1月19日】
「第2回女性委員会」
（ホテル白萩）

③高齢者相互支援推進啓発事業

【1月27日】
「第４回モデル指定老連関係者連絡会議」
（ホテル白萩）

④理事会・評議員会

【3月7日】
「第8回理事会」
（ホテル白萩）

【3月17日】
「第6回評議員会」
（ホテル白萩）

⑤市町村老連会長・事務担当者合同会議

【3月24日】
「市町村老連会長・事務担当者合同会議」（ホテル白萩）

2　全国の行事

【2月15日～16日】
第22回在宅福祉を支える友愛活動セミナー（東京都）

【3月14日】
全国老人クラブ連合会理事会・評議員会（東京都）

事業報告

《県内のできごと》

平成28年度 研修会・セミナー報告

若手リーダー研修会

7月29日（金）仙台市青葉区の「ホテル白萩」を会場に各市町村老連から若手リーダー57名が出席して研修会が開催されました。

武山萬会長の挨拶の後、県警本部の生活安全部生活安全企画課犯罪抑止対策室犯罪抑止対策係長　松木崇晋（たかゆき）氏から、「特殊詐欺被害の現状と被害に遭わないための対策について」と題して講演をいただきました。県内の平成26・27年度の年間詐欺被害額が2年連続で10億円を超えていることから、急増する「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「還付金詐欺」の最近のだましの手口についての具体例が紹介されました。特にカバンを「盗まれた」や「タクシーに置き忘れた」などの「オレオレ詐欺」のケースでは、被害者の多くはお金を渡してすぐに被害に気付いております。お金をおろしに行く前に、そして他人にお金を渡す前に、「必ず家族に確認を！」するようにとのアドバイスがありました。

講演終了後、平成27年度に実施した「『高齢消費者被害防止キャンペーン』モデル事業の取り組み状況」について、石巻市石巻支部老連の相澤政助会長から活動報告があり、見守りサポーターの役割として、「情報を伝える・地域の中で気にかける・関係機関につなげる」ことなどが特に大切であると話されました。

高齢者相互支援推進啓発事業 シルバーリーダー研修会

12月9日（金）仙台市青葉区「ホテル白萩」を会場にモデル老連のシルバーリーダーや市町村老連の友愛活動担当役員等、約140名の出席者が参加して開催されました。

武山萬会長挨拶の後、仙台市太白区に事務局を置く宮城県地域密着型プロ集団「シルバーパートナーズ」の税理士：椎木秀行氏、司法書士：高橋英之氏の2名から「相続税と遺言書のお話」と題し講話が行われました。

次に活動事例報告として「第12期モデル事業の実施状況について」、モデル指定8老連の代表者から活動の事例や事業推進上の課題等について、2年間のモデル指定の成果が発表されました。

「友愛活動の輪を広げましょう」の合言葉のもと、同世代の仲間の心と心をつないで、笑顔のある楽しい暮らしを築いていきましょう！

女性リーダーセミナー

8月31日（水）仙台市青葉区の「ホテル白萩」を会場に女性リーダー等、約240名が参加しセミナーが開催されました。

開会行事として「老人クラブの歌」や「私たちの誓い」を参加者全員で歌い、誓った後、武山萬会長と佐藤純子女性委員会委員長の挨拶の後、宮城県消費生活センターの田中幸子消費生活専門相談員から「消費者被害の防止と地域でできる見守り」と題し、講演がありました。「悪質業者は高齢者を狙っており、高齢者の消費者トラブルでは、『①悪質業者はやさしい言葉で近寄ってきて、話し相手になってくれることから、だまされたことに気づきにくい。②被害にあったことを恥ずかしく思い、誰にも相談しない。』等の特徴があります。

消費者トラブルをくい止めるためには、高齢者と日常的に接している身近な方々が、まず変化に気づき、相談機関につなぐことが重要です。」とのアドバイスがありました。

その後、白石市老連の「いきいきクラブ体操」「これから音頭」、佐藤純子委員長からの「都道府県女性代表者会議の概要について」の基調報告がありました。

最後に、色麻町、角田市、七ヶ浜町の3老連の女性部長からの活動事例の発表があり、地域における女性会員皆さんの活躍の様子が紹介されました。

健康づくり研修会〈県内7地区〉

本年で14年目となった健康づくり研修会が県内7地区において実施されました。

各会場において、仙台大学統括副学長・教授の鈴木省三先生、准教授の竹村英和先生、内丸仁先生から午前は健康講座「心と体の健康」を受講し、「酒・運動は百薬の長」であるが、これらの薬は「ほろ酔いが上限・ほどほどが上限」とのアドバイスがありました。

午後からは、仙台大学学生のレクリエーションを取り入れたストレッチ体操で身体をほぐしてから、4班に分かれて5種目の体力測定を実施いたしました。

これまでの体力測定の結果から、本県高齢者のバランス能力（開眼片足立ち）が全国平均（60秒超）に比べて非常に低い（20秒以下）との結果

を受け、「足指筋力測定」に続き、一昨年度から新たに移動能力を知るための「タイムアップゴー」（椅子から立ち上がり3m先の目印を折り返し、再び椅子に座るまでの時間を計測するもの）を加えております。

健康で長生きをして元気で活力のある生活を続けるため、姿勢と柔軟性、筋力、足指の機能を改善し、転倒・骨折・寝たきりを防ぎましょう！

開催地区	開催月日	開催会場	参加者数
石巻地区	平成 28 年 9 月　8 日（木）	女川町総合運動公園	117 名
仙南地区	平成 28 年 9 月　9 日（金）	仙台大学	94 名
仙台地区	平成 28 年 9 月 14 日（水）	大和町鶴巣教育ふれあいセンター	98 名
栗原地区	平成 28 年 9 月 15 日（木）	栗原市若柳公民館	94 名
気仙沼・本吉地区	平成 28 年 9 月 16 日（金）	南三陸町スポーツ交流村	87 名
登米地区	平成 28 年 9 月 26 日（月）	登米市豊里公民館	93 名
大崎地区	平成 28 年 9 月 30 日（金）	涌谷町公民館	85 名

第21回宮城県シニアスポーツ大会〈大和町〉

10月7日（金）大和町宮床の「大和町総合運動公園」を会場に、シニアスポーツ大会が県内33の市町村老連から選手・関係者約650名が参加し盛大に開催されました。

台風18号の影響により前日6日（木）に予定されていた大会が1日順延となったため、参加者がやや減少することとなったものの、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ゲートボールの3競技を通じ、健康保持・増進と参加者相互の親睦を図る楽しい大会となりました。

【競技結果】（敬称略）

●グラウンド・ゴルフの部

・男子の部

優　勝　根元和夫（大和町老連）、準優勝　西大條英幸（多賀城市老連）、
第3位　遠藤行夫（白石市老連）、第4位　千葉六郎（大崎市老連）、
第5位　小野重雄（大郷町老連）

・女子の部

優　勝　赤間ちよ子（大郷町老連）、準優勝　髙橋春枝（登米市老連）、
第3位　山本美子（石巻市老連）、第4位　渡邊けい子（白石市老連）、
第5位　阿部陽子（登米市老連）

●ペタンクの部

優　勝　角田市老人クラブ連合会、準優勝　女川町老人クラブ連合会、
第3位　名取市老人クラブ連合会

●ゲートボールの部

優　勝　川崎町老人クラブ連合会、
準優勝　大崎市老人クラブ連合会Aチーム、
第3位　多賀城市老人クラブ連合会

第37回宮城県老人クラブ大会〈岩沼市〉

11月16日（水）岩沼市の「岩沼市民会館」を会場に老人クラブ大会が県内各市町村から会員、関係者約千名の参加を得て盛大に開催されました。

オープニングでは、岩沼市老人クラブ連合会の「土ヶ崎白桜会」「長岡長寿会:長田英子さん」「岩沼みどり会」の皆様による「踊り」「合唱」が披露され会場からは、大きな拍手が送られました。

第一部では、村井嘉浩宮城県知事の記念講演が行われ「宮城県が取り組む創造的な復興について」と題して、「震災からの復旧・復興の現状」のほか、「創造的な復興について」では、～復興を成し遂げるには、従来とは違った新たな制度設計や思い切った手法を取り入れることが不可欠である～と熱く、また時にはユーモアを交えながら話され、参加者からは盛大な拍手が送られました。

第二部の式典では、永年に亘り福祉事業や社会に貢献され老人クラブの発展に功績のあった老人福祉事業功労者28名、優良老人クラブ24団体、社会貢献活動クラブ13団体が武山萬会長からそれぞれ表彰されました。

また、11月9日（水）から10日（木）に富山県で開催された全国老人クラブ大会おいて全老連会長から「優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰」を受けた「石巻市老人クラブ連合会」の紹介がありました。

『メインテーマ　～のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを～』

《東北ブロックの出来事》

東北ブロック老人クラブリーダー研修会〈秋田県〉

・東北ブロック老人クラブリーダー研修会〈秋田県〉

7月14日（木）から15日（金）に秋田県鹿角市「ホテル鹿角」で開催された研修会には、本県から武山萬会長をはじめ36名が参加、総参加者数は404名でした。

今回のリーダー研修会は、活力ある高齢社会づくりに向け、老人クラブを取り巻く状況を理解し、地域を担う老人クラブの役割を確認するとともに、老人クラブリーダーの資質向上を図ることを目的として開催されました。

1日目の開会式においては、全老連の副会長でもある武山萬県老連会長からの「開会のあいさつ」の後、全老連齊藤秀樹常務理事から「老人クラブ組織の発展に向けて」～全国運動、行動提案等～と題し、基調報告がありました。5～6名に分けたグループ討議では、「新規クラブをどう立ち上げる？」のテーマで話し合いが行われました。

2日目は、岩手・宮城・秋田の3県の代表者から事例発表があり、本県からは、石巻市老連会長でもある武山萬県老連会長から「若手委員会の設立」と題し、県内で初めて正式に若手委員会を組織するに至った経緯等について発表を行いました。

来年度は、福島県での開催が決定しました。皆様、是非ご参加ください。

《全国のできごと》

第45回全国老人クラブ大会〈富山県〉

11月9日（水）から10日（木）に富山県「富山市芸術文化ホール」他で開催された大会には、本県から武山萬会長をはじめ9名が参加しました。

初日に開催された活動交流部会では「①地域に健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう、②未設置地区にクラブをつくろう、③演じる活動」の3テーマに分かれての発表・討議が行われました。

2日目の式典においては、「優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰」として石巻市老連が全老連会長表彰を受章しました。

また、閉会式では、全老連の副会長でもある武山萬県老連会長から「閉会の言葉」があった後、全員で「青い山脈」を合唱し幕を閉じました。

来年度は、京都府での開催となります。皆様の参加をお待ちいたしております。

あなたの老連は「協議体」へ参加していますか？

「新地域支援事業」

介護保険制度が見直され、介護度が要支援1・2の人へのサービスの一部（訪問介護、通所介護）は保険者である市町村の行政に委ねられ、平成27年度から平成29年度までの3か年以内に、市町村独自の「新地域支援事業（新しい介護予防・日常生活支援総合事業）」で対応しなければなりません。

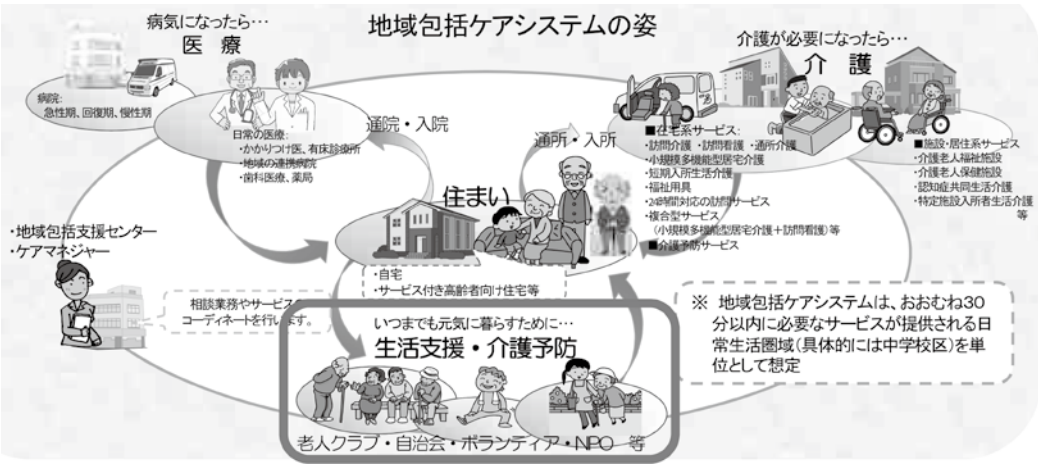
「新地域支援事業」では、私たち高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域団体や住民参加による支え合いの体制を作ることが必要とされております。

その中で、老人クラブが現在行っている「友愛活動」や「見守り活動」「サロン活動」などが、高齢者の在宅生活を支える「新地域支援事業」として認められるよう、市町村行政と相談して進めていく必要があります。

①速やかに市町村行政の対応計画を把握し、市町村長や担当者に老人クラブの事業（活動）を説明して、「新地域支援事業」との関連を再認識してもらうようにしましょう！

②各市町村老連が「協議体（関係団体等による議論の場）」へ参加できるよう、そして、老人クラブの事業（活動）が「新地域支援事業」として認められるよう、市町村に対し積極的に働きかけましょう！

③「新地域支援事業」に取り組むことで、老人クラブ活動を一層活性化させて、「会員1万人増強運動」に弾みをつけましょう！



【会員１万人増強運動】市町村老連別「数値目標＆実績」（H26 ～ H30）

※基準日：H25.4.1

H 28.4.1 現在
（公財）宮城県老連

区分 / 老連名	H25.4.1 現在①		5 年間の数値目標 (H31.4)	H27.4.1 現在		H28.4.1 現在②		② H28 ―① H25	
	クラブ数	会員数		クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数
石巻市	97	3,696	720	91	3,337	90	3,216	△ 7	△ 480
塩釜市	35	1,217	237	35	1,155	33	1,039	△ 2	△ 178
気仙沼市	54	2,041	398	55	2,080	53	2,015	△ 1	△ 26
白石市	33	1,514	295	32	1,448	23	1,289	△ 10	△ 225
名取市	42	1,687	329	40	1,426	32	1,189	△ 10	△ 498
角田市	62	2,106	410	53	1,692	49	1,511	△ 13	△ 595
多賀城市	24	1,084	211	24	1,034	24	962	0	△ 122
岩沼市	32	1,211	236	28	1,023	28	1,002	△ 4	△ 209
登米市	162	7,194	1,401	154	6,779	150	6,418	△ 12	△ 776
栗原市	164	5,516	1,074	155	5,098	154	4,959	△ 10	△ 557
東松島市	29	1,038	202	35	1,230	34	1,142	5	104
大崎市	124	5,019	978	98	3,966	92	3,666	△ 32	△ 1,353
小計	858	33,323	6,490	800	30,268	762	28,408	△ 96	△ 4,915
蔵王町	17	919	179	17	840	15	676	△ 2	△ 243
七ヶ宿町	7	135	26	5	143	6	153	△ 1	18
大河原町	20	751	146	19	670	18	632	△ 2	△ 119
村田町	16	503	98	16	422	16	407	0	△ 96
柴田町	23	834	162	21	760	20	672	△ 3	△ 162
川崎町	19	533	104	19	562	18	539	△ 1	6
丸森町	20	784	153	21	742	20	564	0	△ 220
小計	122	4,459	868	118	4,139	113	3,643	△ 9	△ 816
亘理町	29	1,408	274	38	1,638	34	1,403	5	△ 5
山元町	5	211	41	5	195	5	192	0	△ 19
松島町	12	830	162	12	765	12	722	0	△ 108
七ヶ浜町	12	677	132	12	595	12	591	0	△ 86
利府町	19	984	192	19	990	19	970	0	△ 14
大和町	50	2,307	449	49	2,229	49	2,226	△ 1	△ 81
大郷町	25	602	117	24	554	23	538	△ 2	△ 64
富谷町	13	860	167	13	858	13	848	0	△ 12
大衡村	13	468	91	13	441	13	406	0	△ 62
小計	178	8,347	1,626	185	8,265	180	7,896	2	△ 451
色麻町	16	425	83	15	376	15	335	△ 1	△ 90
加美町	50	2,378	463	48	2,261	47	2,185	△ 3	△ 193
涌谷町	36	1,296	252	37	1,284	37	1,244	1	△ 52
美里町	18	915	178	17	873	15	825	△ 3	△ 90
女川町	6	202	39	6	206	8	275	2	73
南三陸町	0	0	0	25	752	24	698	24	698
小計	126	5,216	1,016	148	5,752	146	5,562	20	346
合計	1,284	51,345	10,000	1,251	48,424	1,201	45,509	△ 83	△ 5,836

※本資料は、宮城県保健福祉部長寿社会政策課が各年３月３１日現在で集計した統計を基に作成したもの。
※県資料を基としたため、本吉町老連は気仙沼市老連に含む。

会員の皆様、ご協力ありがとうございました。
「熊本県及び岩手県の災害に係る救援拠金等」のご報告

【熊本県：地震災害】４月１４日　マグニチュード　６．５　　最大震度　７
　　４月１６日　マグニチュード　７．３　　最大震度　７
【岩手県：台風災害】８月３０日「台風１０号」

標記救援拠金等につきましては、平成２８年１２月２８日現在において、下記のとおりとなっておりますのでご報告いたします。

◎救援拠金額（平成 28 年 12 月 28 日現在）

	第１次振込額	第２次振込額	合　計　額
熊本県老連	２,７１１,５６４円	２,６９８,２２６円	５,４０９,７９０円
岩手県老連	６５２,６４０円	１,２７６,４８４円	１,９２９,１２４円

※岩手県の第１次振込額には、３市町が第２次分として拠金された３３８,８００円も含まれております。

◎元気袋

タオル・石鹸・ウエットティッシュ等を入れた「元気袋」50 個を女性委員会及び各老連女性部有志の方々に作成していただき、８月 17 日に熊本市老連に送付いたしました。

【今後の取り組みに向けて】
～会員１万人増強運動～

①単位クラブはまずあと一人の加入増（前年度より）を！
②解散クラブの防止を！
③未結成地域に新規クラブの立ち上げを！

事務局体制

・常務理事・事務局長　赤間　明
・事務局次長　兵藤　玲子
・嘱託　井上　静香

記事などに関する問い合わせ先

〒980－0011
仙台市青葉区上杉一丁目2番3号
宮城県自治会館内
公益財団法人
宮城県老人クラブ連合会あて
電　話　０２２（２２３）１１５６
ＦＡＸ０２２（２２３）１１６１

老人クラブ会員章

全国老人クラブ連合会では、老人クラブ会員章を頒布しています。

会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボルです。会員章を胸に、クラブ活動の輪を広げましょう。

【頒布代】1,000 円／１口（ほかに送料 120 円が必要です）。
◎ 20 口以上は @900 円。
■お問い合わせ先
公益財団法人　宮城県老人クラブ連合会事務局

老人クラブ3つの保険〈掛金・保険金内容〉

傷　害　保　険　　平成28年7月1日改定

① 総　合　型

〈 クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず
日常生活全般（24時間）のケガを補償します。 〉

クラブ活動中のケガの場合は、（白　地）＋（薄いグレー）の合計（黒　色）の保険金額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は、（薄いグレー）のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	10,000円		5,000円		3,500円	
ケガをした時の状況 ＼ 補償内容	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	170万円	217万円	85万円	109万円	45万円	91万円
	387万円		194万円		136万円	
後遺障害保険金（注1）	170万円	—	85万円	—	45万円	—
	170万円		85万円		45万円	
入院保険金日額（注2）（1事故につき30日限度）	4,000円	2,280円	2,000円	1,140円	1,000円	950円
	6,280円		3,140円		1,950円	
通院保険金日額（1事故につき30日限度）	2,600円	1,700円	1,300円	850円	650円	600円
	4,300円		2,150円		1,250円	

※「総合型」の職種級別A級は無職・事務職（傷害リスクの低い職業）等です。B級（傷害リスクの高い職業）については、下記をご参照ください。

ご注意
●職種級別B級に該当するおもな職種
・建設作業者、自動車運転者、採鉱・採石作業者などの傷害リスクの高い職業。
・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問合せください。

② 活　動　型

〈 クラブ活動中とその往復途上（注3）のケガを補償します。 〉

クラブ活動中のケガの場合は、下記の保険金額が支払われます。
クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況 ＼ 補償内容	活動型 活動中のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合
死亡保険金	170万円	85万円	45万円
後遺障害保険金（注1）	170万円	85万円	45万円
入院保険金日額（注2）（1事故につき30日限度）	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額（1事故につき30日限度）	2,600円	1,300円	650円

ご注意
クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1　後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。（後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%～100%が支払われます。）
※注2　手術保険金のお支払額は、入院中以外（外来）は、入院保険金日額の5倍また入院中は、10倍となります。
※注3　往復途上とは、自宅（マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む）を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

クラブの全会員加入が条件です。　老人クラブ活動専用 賠償責任保険

③ クラブ全員型

補償範囲： 老人クラブ活動中の対人・対物（損壊）の損害補償〈自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外〉
管理下財物（注）の盗難・紛失等を補償します。但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象となりません。
注）日本国内において被保険者（単位老人クラブ・会員）が占有または使用等している第三者の財物

掛　金： クラブの全会員数×100円（但し、最低引受保険料3,000円）

支払限度額：1億円
※施設賠償責任保険：対人・対物（1名・1事故）
※生産物賠償責任保険：対人・対物（1名・1事故・保険期間中）
※初期対応費用、訴訟対応費用特約：支払限度額500万円（1事故）も付帯されております。

※詳細については、賠償責任保険の「概要・ご加入の際の注意事項」をご参照ください。
（お支払される保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。）

保険期間： 毎年10月1日（午後4時）～翌年10月1日（午後4時）までの1年間

申込方法： 毎年9月15日までに賠責保険専用の掛金払込用紙（払込取扱票）で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」は可能です。
・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の振込で翌月1日からの加入となります。
　但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。
・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
〒100-8822　東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、資料請求先
◆ 最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。
◆ 不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。
専用FAX 03-3597-8767　お問い合わせ ご相談 先　受付時間 9:30から17:00まで（土、日、祝祭日、年末年始休）　03-3597-8770
ホームページ　http://www.senior-ltd.com/　老人クラブ傷害保険　検索　メールアドレス　hoken@senior-ltd.com
〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社　TEL.03-3597-8769
〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社（担当課）医療・福祉法人部　法人第二課　TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険（老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険）」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険（施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険）」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」「概要・ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

16-T14041　平成28年4月作成 3

104号 MIYAGI県老連だより
発行／公益財団法人　宮城県老人クラブ連合会　〒980-0011 仙台市青葉区上杉1－2－3　TEL 022－223－1156 FAX 022－223－1161

出版のススメ。

「詩歌集」「絵画集」「写真集」

　これまでに創作した詩歌、随想、絵画、写真を1冊の本にしてみませんか。

「自分史」

　これまで歩んできたあなたの半生を、1冊の本にして家族や友へ伝えてみませんか。

■お問い合わせ
〒980-0801
宮城県仙台市青葉区木町通二丁目6番53号　あきは4F・6F
Tel 022(727)5181 代表
Tel 022(205)2551 制作企画部　直通
Fax 022(718)5350
E-mail senko.kato@kym.biglobe.ne.jp

ひらめきと、ときめきと。
あきは書館